

開催報告

## 業務部 中小企業支援対応委員会主催

## 「現場担当者が語る！信用保証協会や再生支援協議会による中小企業支援の実務と事例研修会」の開催について

中小企業支援対応委員会副委員長 中島 茂男

平成 29 年 4 月 19 日（水）、公認会計士会館ホール 1 において、『現場担当者が語る！信用保証協会や再生支援協議会による中小企業支援の実務と事例研修会』と題した研修会を開催しました。本研修会を企画した中小企業支援対応委員会（業務部所管）においては、従前から東京信用保証協会との間で中小企業支援に関する覚書を締結しており、同協会との連携事例を会員へフィードバックすることを目的として研修内容を企画し、実施しました。また、暫定再生計画が終了時期を迎えている現状において、その出口対応として抜本的な再生計画策定が求められていることから、抜本計画の基本的な考え方から事例に至るまで解説することが、中小企業支援をしている会員に対して有用であると考え、当該研修を企画し、実施しました。

今回の研修会では、2 部構成の研修会として実施し、第 1 部では東京信用保証協会の経営支援専任課長の佐藤聡氏及び課長代理の勝野薫氏を講師に迎え、同協会の経営支援への取組の概要について説明をしていただき、その後同協会と公認会計士の連携事例として、当委員会の古川大輔委員に事例の解説をしていただきました。

最初に佐藤氏及び勝野氏から「企業サポート推進プロジェクト」の概要、サポートメニュー、利用の流れ、過去の利用実績と今後の利用目標などの説明をしていただきました。その後、実際の支援事例を用いて、事例概要の説明から実際に作成した資料まで、古川委員から時系列的に解説をしていただきました。

また、サポート終了後の対象会社の社長、同協会の担当者、メインバンクの担当者からの意見についても解説をしていただき、最後に公認会計士が中小企業支援に取り組む意義についての熱い思いを語っていただきました。

第 2 部では、埼玉県中小企業再生支援協議会に勤務する当委員会の西平哲委員に抜本計画策定の考え方及び実務の説明をしていただきました。最初に同協議会を含む企業再生に関する支援団体等の概要の説明から始まり、同協議会の再生支援の実績、経営改善計画の内容、同協議会版の暫定リスク計画、暫定リスク計画の出口戦略としての抜本計画における金融支援の内容について、解説をしていただきました。また、経営者保証ガイドラインの考え方や抜本計画における事例についても現場担当者の目線で解説をしていただきました。

今回の研修会は、いずれも中小企業支援の最前線で活躍されている関係者及び公認会計士による研修会であったため、中小企業を現在支援している会員や中小企業支援に関心のある会員にとって有意義な研修会であったと考えております。

最後に、業務部が所管する中小企業支援対応委員会においては、今後も中小企業支援を切り口に、会員に向けた情報発信、研修会の開催を継続的に実施し、会員の業務拡充に貢献していけるように努めてまいります。

東京信用保証協会  
佐藤 聡氏東京信用保証協会  
勝野 薫氏

古川 大輔委員



西平 哲委員